

平成17年度 事務事業評価表					
〔様式1〕					
記入年月日	平成17年4月22日		記入者	内線	749 - 2121
部 名	生涯学習部	課 名	大野南公民館	課長名	中村 洋子
事務事業名	市民健康まつり				
予算上の事務事業名	公民館活動費大野南公民館				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		15210		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります				
基本施策名	第2節 生涯スポーツ・レクリエーションの振興				事業開始年度
施 策 名	第1施策 スポーツ・レクリエーション活動の促進				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
社会教育法第20条					
3 個別計画の概要			概要		
計画名	大野南公民館振興計画（事業計画）		毎年、大野南市民健康まつり実行委員会で事業計画を決定し、事業実施を行う。		
計画年次	17	年度～	21	年度	
4 事業形態の区分 啓発・広報・イベント ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的（何のために行うのかまたはもたらしたい成果）			(2) 対象（誰、何）		
健康づくりへの地域住民の幅広い参加と、関心の喚起を踏まえ、公民館区の居住者の健康づくり・体力づくりの普及と住民の協調親睦を促進し、健康で明るい地域社会の形成に役立てるために実施する。			主に、大野南公民館区居住者		
(3) 平成16年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。					
「みんな元気がみはら」平成16年度大野南公民館健康まつりの実施（委託料 8万円）					
日 時 平成16年5月30日（日）午前8時～午後3時					
会 場 大和市泉の森公園					
内 容 公民館から泉の森公園までウォーキング・・・公園内では人間知恵の輪、ビーチボール送りを実施して健康づくりを推進する。・・・帰路は、鶴間駅から相模大野駅まで小田急線を使用					
主 催 大野南公民館市民健康まつり実行委員会					
6 関連・類似事業や他市の状況					
7 事業費の推移 [単位：千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事 業 費	130	80	80	80	80
一般財源	130	80	80	80	80
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	53	53	53	53	53
事業コスト合計(a)	183	133	133	133	133
8 事業効率・・・（複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業）					
主たる事業名	市民健康まつり事業			対象名称(単位)	参加者数(人)
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	183	133	133	133	133
対象数	96	52	75	100	100
単位あたり経費(円)	1,906	2,558	1,773	1,330	1,330
前年度比		1.34	0.69	0.75	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化						
指標名 (単位)	参加人数(人)		指標式と指標の説明	参加者数		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	96.0	52.0	75.0			
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
目標達成度	0.96	0.52	0.75			
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標						
指標名 (単位)	事業参加者目標達成率		指標式と指標の説明	参加人数/100人×100 事業参加人数目標100人の達成率により成果を表す		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	1.0	0.5	0.8			
目標	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
目標達成度	96.0	50.0	75.0			
11 個別評価						
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】						
B	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。				
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】						
B	<input type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を享受している。				
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】						
B	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。				
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。				
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】						
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。				
12 総合評価						
(1) 自動判定結果						
	〔 〕：良好な状態を維持する事業					
	〔 〕：概ね良好な状況である事業					
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業					
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業					
(2) 担当課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明			
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと			
より魅力ある目的地を検討し、また、他の事業との連携を深めることにより、参加者数を増加させる検討が必要である。			参加者が高齢の方々が多い中でサポート対策が必要になってくる中でコースの選択方法を良く考えることが必要である。			
15 二次評価						
(1) 行政評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
			地域との連携を強化し、事業効果を高める。			